

おっかん の 心算

2



詩犬 ヌネ

ゆめのおくで、ひとやすみ…

夜みる夢の 奥の世界

へんてこだらけの星々のあいだに、
小さな島が 浮いていました。

彷徨うものをどこかへ運ぶ 鳥の群れ
彼らが立ち寄る 小さな家

これはそこに住む
小さなお茶汲み君の
おはなしです…



きゃらくたーず



←ツモル やわらかマイペースな主人公



←ハチ ツモルになつく筋肉獣人さん



←ノット ランプに住む幽体魔法使い

それでは、
ゆる夢的
ふしぎひと休み…





つもるというこ

つもる

翼使見習い
お茶汲み君



青い幽霊

筋骨大人と

接ぎの島で

せいかつ中

迷子鳥に助けられ
鳥になる事にした



さまよう魂 運ぶ鳥
彼らを癒す 茶の香

ツモル
そのこ



ならではの

なにか

育成中...

発すわ
連なるわ

そしで

響きあう

へんなわ





はばたきでいず

いやはや
なんとも



つもる!
どうだい
飛行力は?

君のお茶
飛べる日
楽しみに
してるよっ



体も
気からさ、
ツモル



僕は飛べる
かなあ

何だか
触れた
風の粒



それも
翻翼?

今日の
ツモル君
でした。



ノットと陽

陽の人なにやら
降りてきました。



夢の奥頂と底
あとまんなか

もしかして
陽の翼使
さん？



ああの



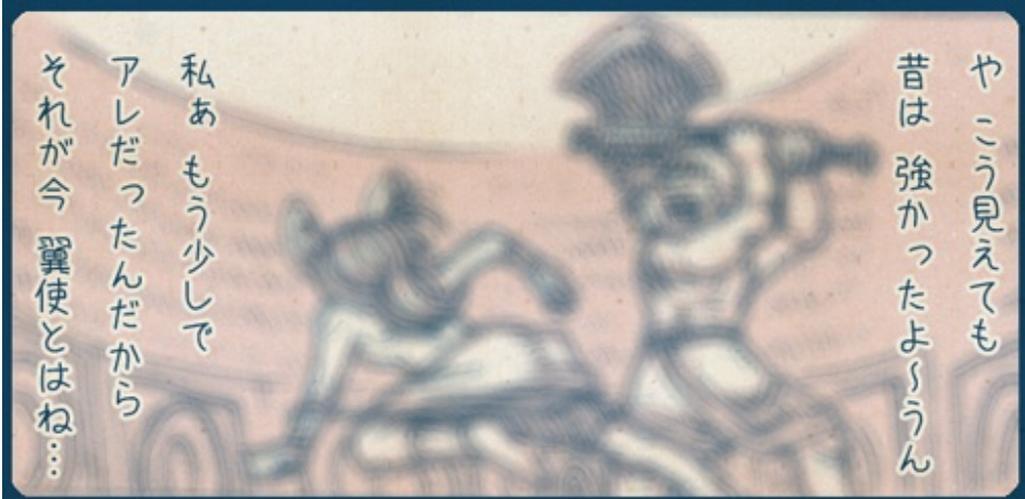
ええ 我々は陽の徒
闇に照る旗掲げる
同属 青髪の変物を
何ぞご存知で？

謎の繋がり
何だろな？



…変物違いで
でもこの幽体
のことは
どうか内密に。

かこといま













かぜのこ

魔法はまこと多様

まあ参考までに……

ノットさん

風を呼ぶことば
教えてくれました。



おお 初回でこんなに

懐かれるとは……

翼使の知ですかねえ



本当っ？

たまってるかかな？



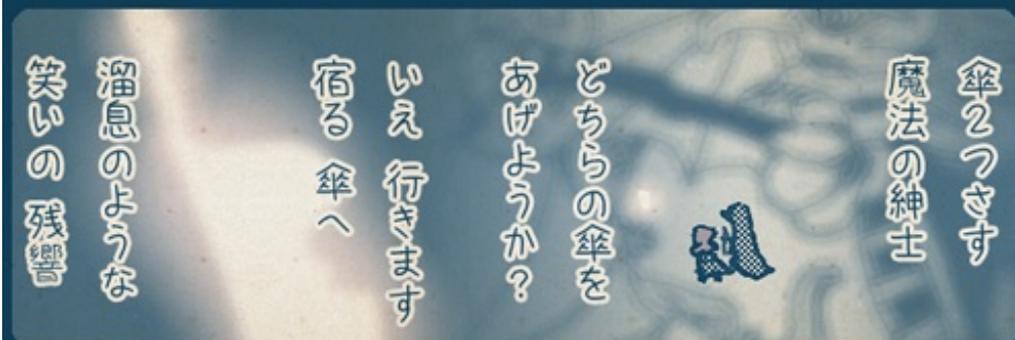
戻らない。



ミッセのとい



謎の 대기



ひろがる？ しま

同じようで見かけない鳥ずやっ来てました。

そちらも島が？

ああ育って広くなったよ

島が…育つ？

じゃあここもこんな感じにッ！

接ぎの島どうなるかな？

あざっ！
たが今！

えっつと
ところで
お茶…

ハチでいず



おさなきほし

朝の
散歩

砂の地に
ちいさな
青い粒が

転がしたら
お食事してた
虫
そろそろ



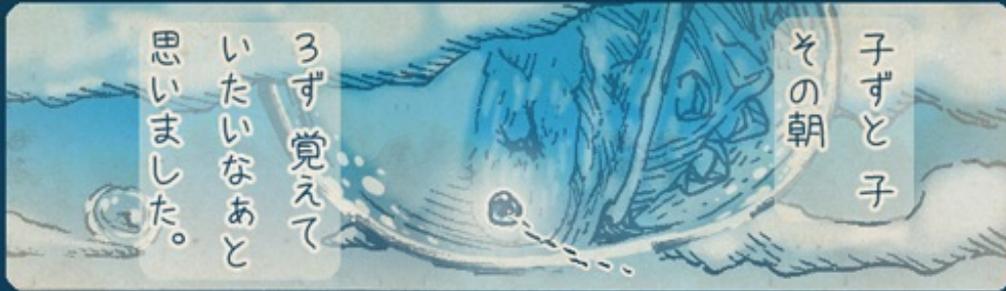
虫も
ろも
星も
粒

粒は
名残の懐かしさ
粒は
新たな命の細胞



子ずと
子
その朝

ろず覚えて
いたいなあと
思いました。



ノットおん空

雲上の子
野をみた

野の麗しい
青い獣を

どんな名？
鳴き声は？

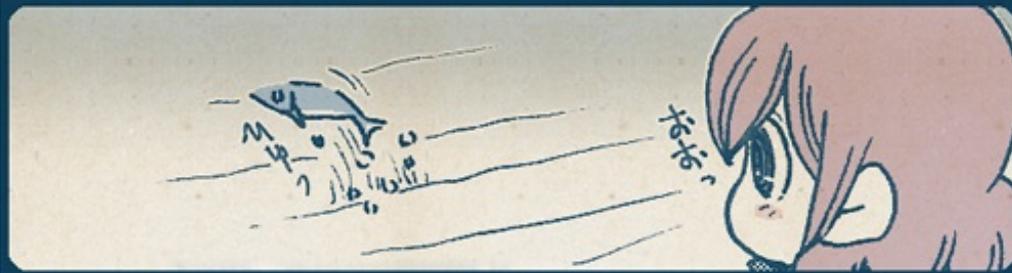
戻れぬ空を
降りてゆく子

そんなこんなで、
ノットさんに
なりました。

：肩たたけ
ないなあ：

様々な粒
集う島です。

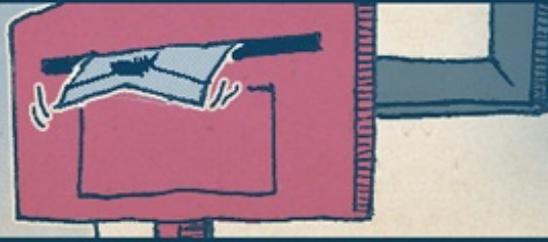
のたり と しるし





ほかのしま

変なポスト
今日は…?



あ鳥さんから
他の島の写真
だよ!



接ぎの島に
知りえの島より

翼使 寄る島あり



そのどこか
四方とまんなか

安らぎの雲と
惑いの雲の間

ああ鳥っ
早くなりたいや…

他の島 翼使のこころ
鳥ツモルどんなかな?





ノット空びと

空から来た
青い髪の子
目的は…

よし
青い獣どの
探そう!

Q. 青い獣を見たい？
はい、ぜひ！

Q. 案内しようか？

彼らは贄か勇者を
私は青い獣どのを
もとめていた

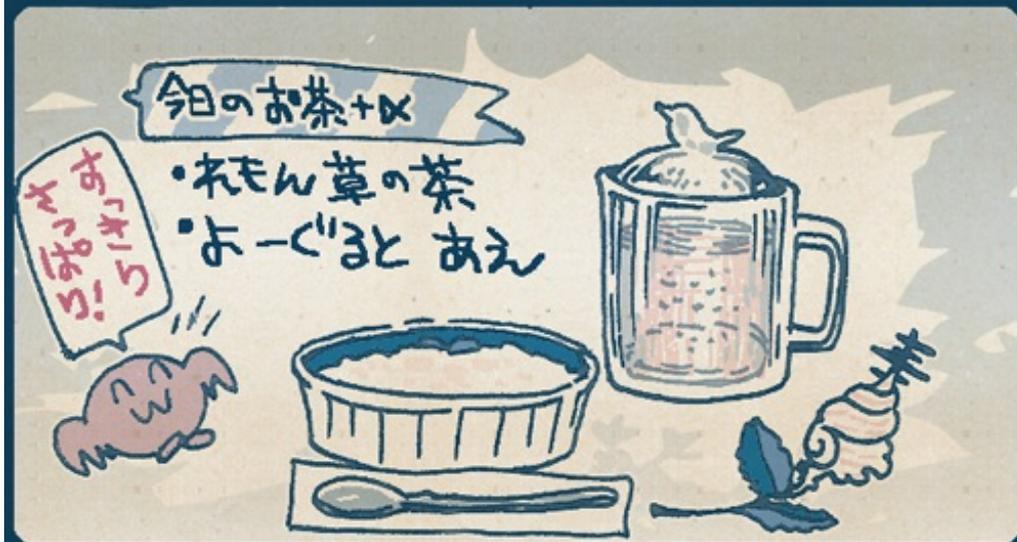
糸もまた粒ですが…
お話と耳 どちらも
難きかなしさですね

古代ある日
ノットさんの
光と闇でした。

…ツモル
君？



おはつのぶれいく









いぬといた

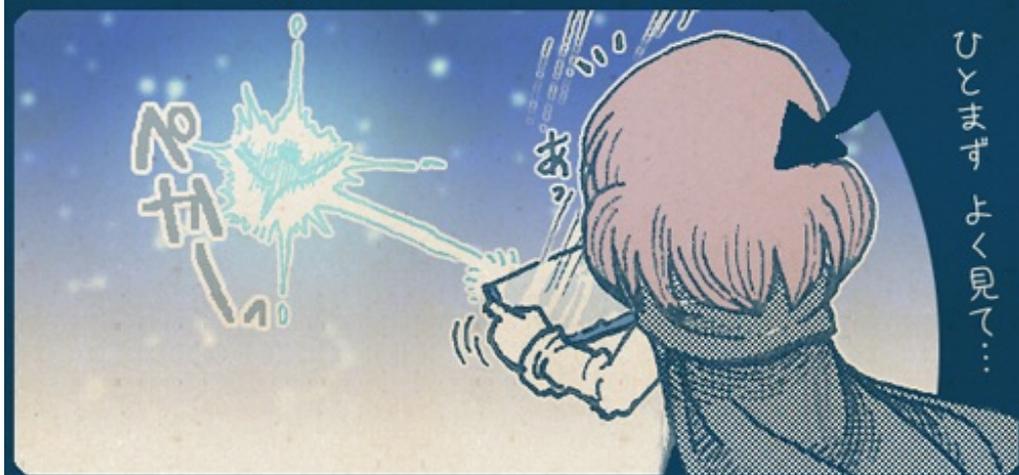
謎のいた
ハチさんも
何か考えて
います…



似たにおい?
泡に夕陽
照っています。



たましいといた





ノットごはん



風とぬくもり

風よりと
るす星見?



ときにも重たく
ぼんやりのうち
乗り遅れたりも

ぼくのとき
いきなり始まり

そのいろいろ
そのふしぎ

ぼくを構成
してる何か



それらも
それら以外も



そんな
朝です。

うし と たこ

清水の泉
牛の子のたり
佇んでいます。

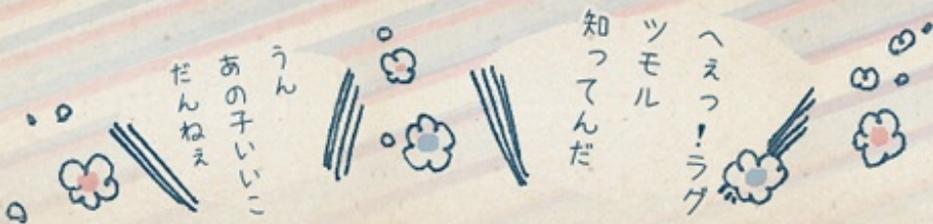


あんれ!
泉の乙女だあ



んはく...お?
あんた誰?

★じこしよろかいか★



うん
あの子いいこ
だんねえ

へえっ! ラグ
ツモル
知ってんだ

ふしぎな
女子ーずです。

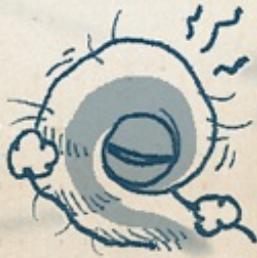


それかツモル
魚にするー!



ああ乾燥に
強まりてえ

やみめくもの



おこんな
所に…



おいで
鳥さんが
運んでくよ



おこんな



意外と仲良し
でした。

MM

おこんな

ノット = こうもり

そこの
透けた人！
あんたも
不思議だね

命でも魂でもない
あんた何だい？

私は一介の旅人
ですよ…
知りつつ着けぬ花園
そに踏まれも歩む…

やっぱり

ヘンテコ？

ノットさん

ちゅっ
ワカラナイ…

えっ
ごすか？

はじめのひな

光る粒から
うまれた

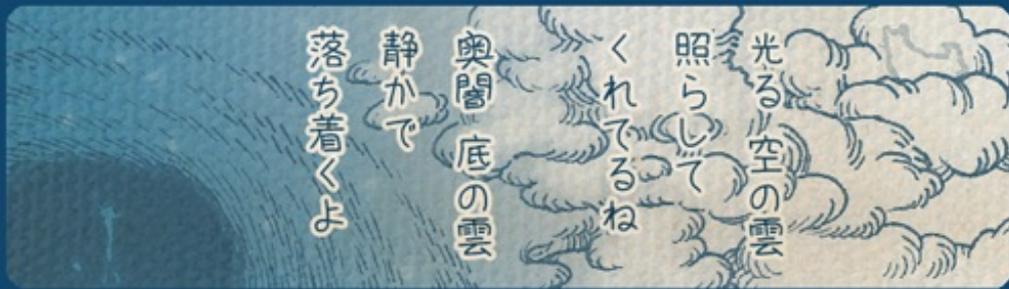


光と闇を
包む雲
その瞳に

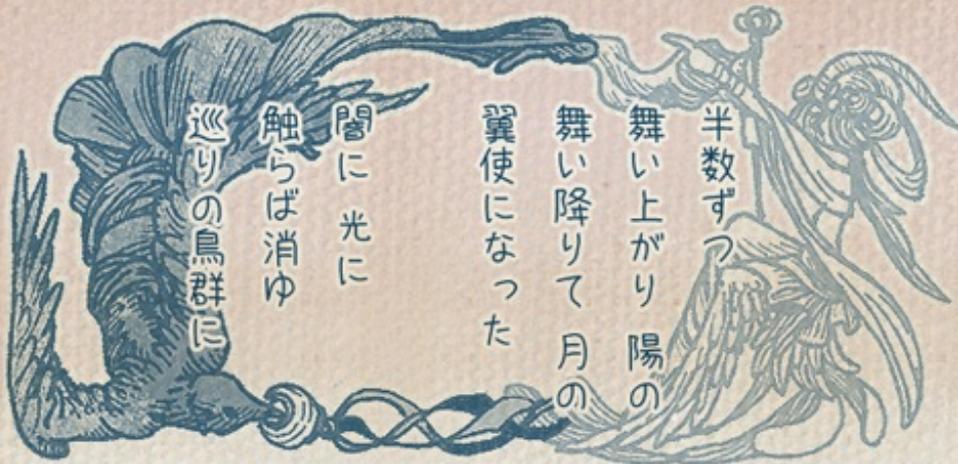


言葉
温もり
境界
そして

光る空の雲
照らして
くれでるね
奥闇底の雲
静かで
落ち着くよ



半数ずつ
舞い上がり陽の
舞い降りて月の
翼使になった
闇に光に
触らば消ゆ
巡りの鳥群に



へえっ
そんな
流れが!



まあ
今は雑種
だけどね。



みび と みず

今日は退歩…
という日あり



今日は進歩！
という日あり

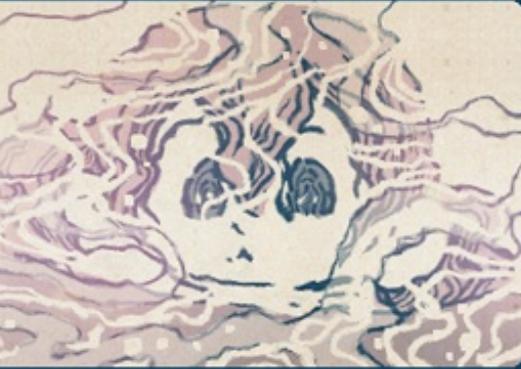


粒を
よくみる…？



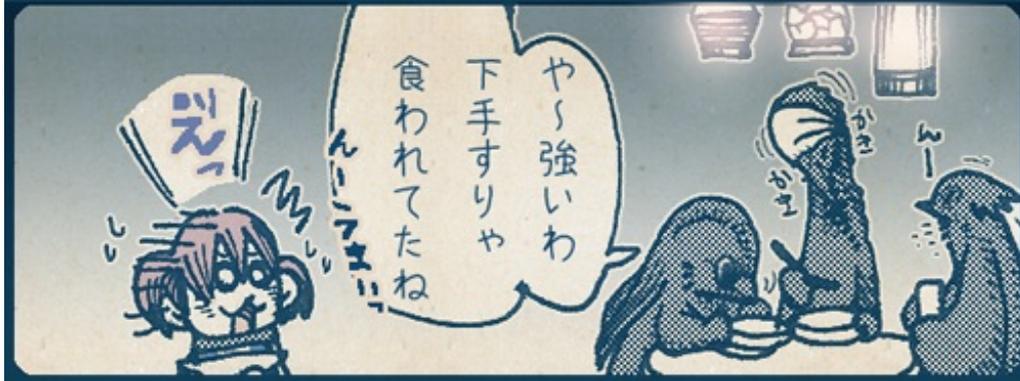
そうだのう…
そういうときは
ヘンテコの粒を
よしくごらん
好きな粒を

獲のたゆたい
身近で遥かで
陰り照りめぐり
民話にも お茶にも
どこかで 羽ばたく
気のする 日でした。





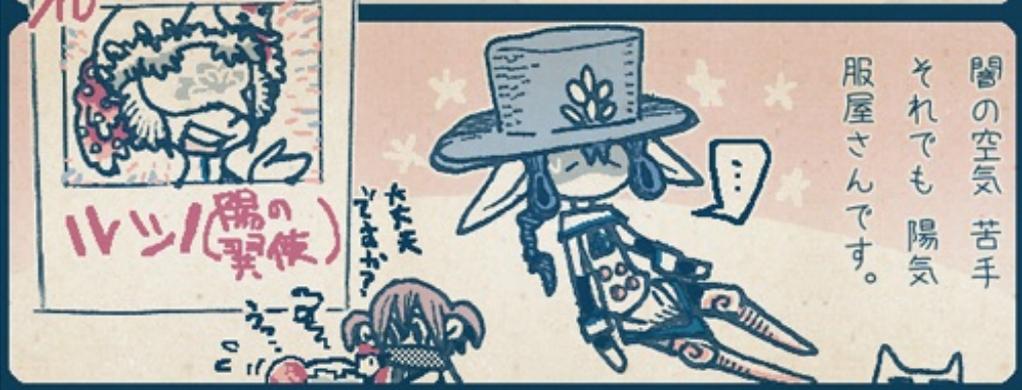
とどまるもの







10の7



まほうのそで



なんじゃ
こりやつ

ツモル君
なにやら
わたわた...



こ、これ...
袖がないよ!

ああ!



ルシノの魔法
ですね 季節で
伸縮する袖に
変わったかと



それで
だったか...

やや便利な
魔法でした。





＝ と ＝

お散歩中
またひとつ
沈む小さな星

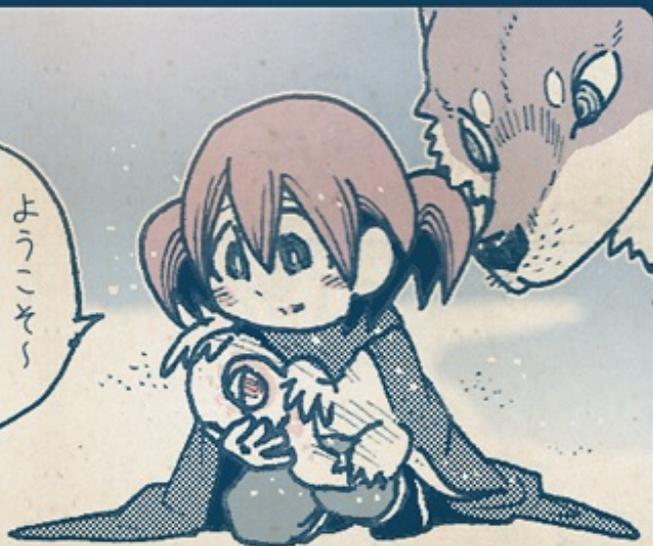


渦巻き
ないてる



なんの
粒かな？

ようこそ
僕もこう
だったんだ。



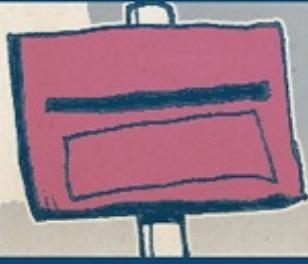
あゝごほん！
な何でも…この
運んでくだはい…

あれ？



ひとつひとつ

ここと
どこかを
つなぐ



思うと
変なポスト
更に不思議

通信板や

記録石も



では

翼使は？



ノットさん
陽の光に強い
なあ…

幽霊さん
風変わりな

(1)



無邪気な大人

または 犬さん

(2)



よくし と とつぷ



翼使は

二派

魔を射て

命を運ぶ

陽の鳥と

魔を知り

魂を運ぶ

月の鳥

元は似て

翼は違う

空をゆく



目覚めの旗は
白き翼の童子から

眠りの灯りは
黒き翼の巫女へ

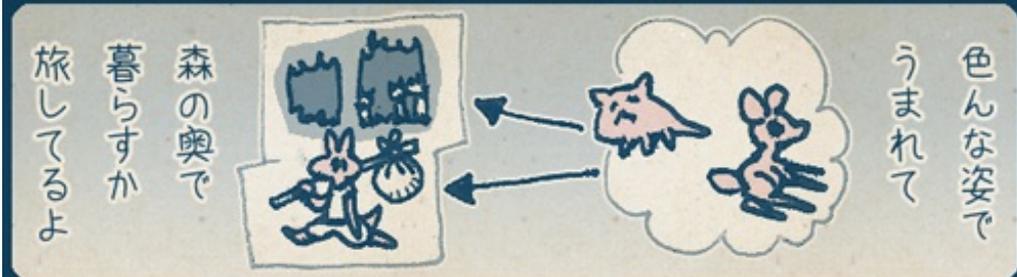


なにか羽音が
しているね。

泡の宇宙を
呼吸し暮らす子
今日の一粒です。



わかハチ













とりのうた

元翼使さん
飛び来ました。



運び 失い

こころは 残った
だからと 歌うは

散った鳥の名
残した言葉
星々の物語と
ともに



山彦ならぬ
うみびこ?
響き 広がり
泡のまにまに



つもる はね

ツモル 助けた
魂運ぶ鳥達
その翼授かり
見習い中...

でも、
飛ぶには
未だ遠い
日々です。



おはつのおくし









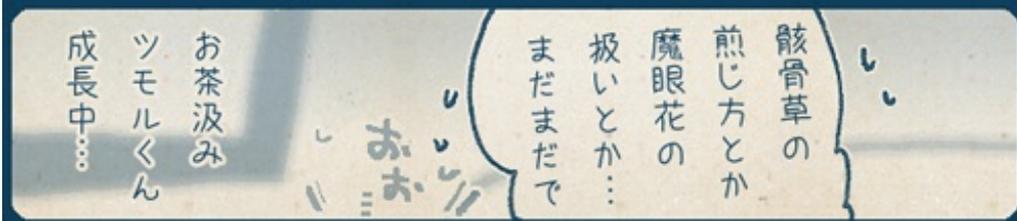
つもるためいき







謎とりぴ〜と



ラグのまきば

金魚？みじんこ？
大きな丸々連れて
放牧中
牛娘さんちーず
毎年作るそうなの…

帰ったら
きつと…
食べて
ほしいの
ちーず。

いい匂い
だねえ草も！

水も風も
澄んでっから
あじ濃いんだ

待つ牛のひと
山の迷宮に
住んでいた
そうです。

んん？



ついとそら









あおのけもの

ランプの中
の、迷宮の中
そこには

挑戦者と
ぬしの姿が

青い獣は
憂う獣
閉じて始まり
後は技巧で
生ける迷宮

なぜ憂い 迷いの城に住むか
知る者はいないという

なぜなら 解明する

その前に 挑むものは

食らい尽くされてしまうから

かなしいほど青い 獣に

青い帽子の変物
まだかな…
腹が減ったわい

藍のの
飯屋かっ！



ハチとじゃすと



ハチ
良かったね!
鍛錬ずぼん。

今日は買出しの
2ず…



今日は
得をしたよ。

ああ中々
丁度良いのが
なくてな…



翼使の機会
めつける!

世界には丁度と
その機会が
たまにあるんだ



機会って
なに?

夢の子ず

機会。食みつつ
育っています。

てんのこいぬ

ふと風と
鈴の音

何かな？
窓ごし…



仔犬ちよこん
座ってた

何かな？と
くんくん中…



しばし
お待ちを！
水持って
来るからね

どろが
ぱたが
ぱた

あれ



じゃあねの
わん！

響き 残り

光のわんこ
駆けてく 夕景

はなとそら

島の庭 ツモル
何か 作業と

青いの するり

大分結晶化

してきたなあ
湯に溶かすと
甘くなるんだ。

幾つもの
風琴の音

そのとき
空から

ああ
遊覧船ですね

めぐるものの
いったいどれ程
空舞う庭に憩うか…
ノットさんの眩き

一方
ツモルは

陽の翼使
さん…
光りもの
好きなの
かな？

と思い
ました。



ツモルくんのまわりは、へんてこな大人わんさかだなあ...

あと、定まっていなかったノットさんの後ろ髪さそり化してきました。

おまけ2 つもる てい～しーずんず②

1.

ツモル：今日は桜の風味のお茶です。

鳥a：おお、二日酔いに効くう～

鳥b：あら、せきも止まったわ...

鳥c：ああ～嵐のようだった落ち込みや不安がまあるく...

ハチ：（いろいろ大変なんだな、鳥たち）

2.

ノット：おや、すっきりしつつとろあまい香りが...

ツモル：うん、ミントとレモンのお茶だよ。はちみつ入れたら、よく混ぜて飲むんだ。

ノット：おや？しかし、香りはすれどはちみつ不在です。

ハチ：はふぺろぺろ...ああじゃあ今日はミントとレモンの茶にしよう。ぺろぺろ...

3.

ハチ：おおっ何だこれ、茶に雨が降ってるぞ！

ツモル：何でも常に雨の降る森の清らかな水辺にしか生えない苔なんだって。

特殊な加工法だから飲めるらしいよ。

ノット：じめじめの季節...そろそろあれの本番ですね...ひゅ～どろどろどろっと

ハチ：ひゅう、硝子の器だと色のグラデーションが鮮やかだなあ

ツモル：水饅頭もどろぞ。

ノット：（2人ともおばけ苦手なのかな）

おつかいツモル 2

<http://p.booklog.jp/book/105584>

ツモル②、でました。

おつかいなのか、そうじゃないのか、
だんだんへんてこず増えてきました。

かれらのいろいろ、ツモルたちのいろいろ
どんなかな？

じっくりゆる～く、描いていきます。
(3巻めは、2016年10月ごろの予定です！)

それでは、また～

※他にも無料で読める本、色々あります。
よろしかれば、ゆる～くドウゾ！

著者：謡犬 ユネ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yuneutainu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/105584>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/105584>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ